

青葉区区民協働まちづくり事業紹介

当協議会の事業の他にも、次のような青葉区と区民の方々が一緒に取り組んでいる活動があります。

ほたるの里づくり

ほたるに関心を持ってもらうため、絵画・作文コンクールや放流会を今年度も行ったほか、3年ぶりの青葉区民まつりに参加しました。ホタルまつりは各地区によって中止や規模縮小もありましたが、できることから始め、来年度はさらに工夫した活動ができるように準備を進めています。



大倉ダムの魅力発信

「鯉のぼり×大倉ダム」(R4.5.3~5)

今年度は地域在住のイラストレーターに依頼して大倉地域の伝説をモチーフにチラシを制作するとともに、来場記念となる撮影用パネルの設置やしおりの配布、キッチンカーの出店など新たな試みを行いました。また、ダム管理事務所の協力により、雑木を整理し、元気に泳ぐ鯉のぼりを見やすくしました。



仙台・作並回文の里づくり

今年度3年ぶりに開催された宮城地区まつりに出店して、回文クイズや回文おみくじを実施しました。また、日本ことば遊び回文コンテストを実施し、入選した作品はホームページ<http://kaibun.mcpu.jp/>に掲載しています。



まちづくり活動 助成事業

地域における市民と行政の協働によるまちづくりを進めるため、自主的・自発的にまちづくり活動に取り組む市民団体の活動に助成金を交付する事業で、1月から2月にかけて募集を行っています。区民の皆さんのまちづくり活動が、地域に根差した継続的で自立した事業へと発展するよう支援します。

事業名	団体名	事業概要
環境教育と地域交流の融合	特定非営利活動法人 珀杜	学校林である青陵の森において、自然保護活動を行うことで森の安全を維持しながら、自然観察会を定期的に開催することにより環境教育の重要性を啓発し、地域交流の場としての活用を促します。
白沢カルデラプロジェクト実行委員会	白沢カルデラプロジェクト実行委員会	白沢カルデラ・広瀬川の地質、地形等の自然資産を活かして、地域における大地の成り立ちや歴史を学び、将来的には広瀬川ジオパークとしての登録を目指します。地域内の町内会や関係団体等との連携を強化し、地域コミュニティの活性化を図ります。
おばあちゃんの玉手箱～手仕事ワークショップ～	一般財団法人 仙台YWCA	多くの世代が交流する場を設けることにより、孤立・孤独の解消につながる新たなコミュニティを創るため、高齢者や子育て世代など、誰もが安心して過ごせるような手仕事ワークショップを開催します。
美術公募展「第11回 せんだい21アンデパンダン展2022」	せんだい21アンデパンダン展実行委員会	審査がなく誰でも参加ができる公募展を、仙台市内の複数箇所の民間ギャラリーや町内会の管理スペースを会場として開催することで、表現者と観覧者の新たな交流の機会創出や、地域の魅力・活力を高めることにもつなげます。
定禅寺リビングストリート2022	定禅寺リビングストリートプロジェクト	地域の顔が見える日常的な賑わいづくりのため、テーブルセットやベンチ等を歩道へ設置するほか、出店イベント等の実施により、コミュニティの場の創出を目指します。
青葉の風テラスを活用した屋外DJイベントにおける新たなコミュニティづくり	一般社団法人 IKI ZEN	市営地下鉄駅設の屋外テラスを利用し、ウィズコロナ時代に即したDJイベントを開催します。ワークショップや県内食材を使用したテイクアウト等も実施し、幅広い世代が楽しめる機会を生み出します。
謡 栗生流をひろめる事業	栗生の民俗をたずねる会	「栗生流」と呼ばれる謡の文化および習俗を調査整理し、保存します。出版した書籍を基に、Web公開やパネル展示など広報活動を行い、謡の後継者の発見、育成を目指します。
く(国見ヶ丘)よ(吉成)み(南吉成)の自然を守る・歴史文化を伝える	くよみ郷土研究会	地域に愛着を持たせ、共通の想いを創るためには、地域の自然・歴史文化を知ってもらうことが必要と考え、地域住民を対象とした自然観察会の開催や街道歩きガイドマップの作成を行います。
子育てサロンおよび認知症カフェ等の共催運営事業	一般社団法人 WITH	地域の中にある子育てや高齢者向けの既存団体等と共催で、子育てサロンや認知症カフェ等を運営します。自助だけでは困難になってきている地域活動を、既存団体との共催という形で不足部分を補いながら、地域のコミュニティ力を最大限に生かして企画運営します。
ともに学び一緒にアクション・八幡町SDGs商店街	八幡町商店街ファンコミュニティ(八幡町商店会)	SDGsについて、地域住民・店主・子供たちが楽しみながら「気づき・学び・アクション」していける仕組みと場づくりを行います。リアル・オンラインのハイブリッドのセミナーやハロウィンイベントなどを開催します。



環境教育と地域交流の融合



おばあちゃんの玉手箱～手仕事ワークショップ～



定禅寺リビングストリート2022

令和4年度 いきいき青葉区推進協議会 会報

杜の都 あおば 第30号



仙台の昔を伝える紙芝居

青葉区民まつり

宮城地区まつり

仙台伝統ものづくり塾

AED(自動体外式除細動器)を貸し出します

市民の方が参加するスポーツ大会・イベント・講習会などにご活用ください。

お問い合わせ:青葉区まちづくり推進課 Tel.225-7211 内線 6138 宮城総合支所まちづくり推進課 Tel.392-2111 内線 5134



編集・発行 いきいき青葉区推進協議会事務局(仙台市青葉区まちづくり推進部まちづくり推進課内)
〒980-8701 仙台市青葉区上杉一丁目5番1号 電話:022-225-7211 内線:6136~6138
発行日:令和5年2月 印刷:東北紙工株式会社
掲載記事の関連情報は、仙台市政だよりまたはホームページでご確認ください。
<https://www.city.sendai.jp/aoba-chikishinko/aobaku/machizukuri/index.html> (仙台市公式HP>青葉区>まちづくり)
このパンフレットはリサイクルできます。(「雑がみ」へ)

会報編集会議メンバー(協議会役員)

会長 亀田 治
副会長 浅野 るり子 加藤 晴美 古山 健造
千葉 富士男 渡邊 博之

いきいき青葉区 推進協議会とは

区民・事業者・行政が連携と協調を深めながら、主体的、自立的な青葉区のまちづくり活動を推進する組織です。町内会、学区民体育振興会、地区社会福祉協議会、小・中学校PTA等、さまざまな地域づくり関連団体が会員となっており、青葉区が運営を支援しています。

令和4年度活動報告

第34回青葉区民まつり

(R4.11.3)
(会場：勾当台公園)

「再開、そして再会。」をキャッチフレーズに、秋晴れの下、3年ぶりに青葉区民まつりを開催しました。実施に当たり、多くの学生や社会人のボランティアの皆さんにお手伝いをいただいたほか、中心部商店街や企業の皆さんから各種協賛をいただきました。会場内の3つのステージでは、仙台すずめ踊りやフラダンス、吹奏楽などのステージパフォーマンスが行われ、区民の皆さんの日ごろの練習の



消火器体験ブースでは、子どもたちが楽しみながら消火器の使い方を学びました。



成果が披露されました。また、子ども向けの体験コーナーやワークショップなどのさまざまな企画ブースのほか、地元の食などを楽しめる飲食ブースやキッチンカーの出店、豪華景品が当たるスタンプラリー大抽選会などが行われ、来場者は思い思いにまつりを楽しんでいました。

第34回宮城地区まつり

(R4.10.23) (会場：宮城総合支所前広場ほか)

3年ぶりの開催となる宮城地区まつりは、野菜販売などの出店や子どもが色々な遊びを楽しむコーナー、地域にゆかりのある団体による多彩なステージ発表などで賑わいました。また、夜はコロナ収束を願ってイルミネーション点灯や花火打上げを行い、昼夜ともに多くの方にご来場いただきました。



当日は時折小雨が降る中でも、親子連れなど多くの方でにぎわいました。

きらびやかなイルミネーションでまつり会場を飾りました。



個性ある地域づくり計画(宮町地区)

地域住民の皆さんが主体となって、地域の課題解決や魅力づくりに取り組む事業です。宮町地区では、「歴史を伝え、未来をつくる『お宮町』」を目指し、今後の活動方針やアクションを計画にまとめていくため、地域の皆さんで活動を進めています。



青葉区令和風土記

現代版の風土記として、今日現在の地域の状況や遡れる限りの歴史を地域の皆さん自らで調べ、冊子に取りまとめる事業です。これまで地域で発行された風土記は、青葉区役所まちづくり推進課の窓口にて販売しています。窓口で見本を閲覧することができますので、ぜひお手に取ってご覧ください。

風土記一覧

販売中 (600円~1,000円)

- ・八幡地区・国見地区・川平地区
- ・荒巻地区・折立地区・旭ヶ丘地区
- ・木町通地区・通町地区・宮城地区

完売御礼

- ・桜ヶ丘地区・五橋地区・片平地区
- ・小松島地区・中山地区



仙台伝統ものづくり塾

「仙台の瓦の歴史と魅力」(全3回)

仙台の瓦に関する「①ミニ鬼瓦製作体験」、「②講話」、「③まち歩き」の3本立ての連続講座を11月に開催しました。

①(有)中村鬼瓦製造所の中村晃彦さんと(株)植木の植木徹郎さんを講師に迎え、ミニ鬼瓦作りを体験しました。粘土を型にはめて彫り上げた鬼瓦は、個性あふれる仕上がりに。焼きあがった作品は、12月に参加者の皆さんにお渡ししました。



①ミニ鬼瓦製作体験では、講師の熟練の技を参加者は熱心に見入っていました。

②仙台市教育局文化財課の及川謙作さんに、仙台の瓦造りの歴史についてお話していただきました。質疑応答では多くの質問が出るなど、会場は参加者の熱気で包まれました。

③フリーライターで空青編集室主宰の西大立目祥子さんを講師に迎え、瓦をはじめものづくりが盛んだ通町エリアのまち歩きを行いました。通町で焼かれた屋根瓦がいまだ残る家並みを見学したり、当時のまちの造りなどのお話を聞いたりしながら歩くことで、楽しみながらものづくりの歴史に触れることができました。



②講話では、遺跡から出土した資料を中心に瓦造りの歴史を学びました。

このほか、12月に(株)永動染工場の猪俣鉄平さんを講師に行った「藍で染める型染め体験」など、ものづくりの魅力を実感する講座を実施しました。

仙台の昔を伝える紙芝居

仙台の歴史、民話などを紙芝居の製作・上演を通して次世代に伝えていく事業です。令和4年度は、青葉区民まつりや地底の森ミュージアム等での紙芝居上演会のほか、上演スタッフ育成のため、3年ぶりに上演体験会を行いました。皆さんからの上演依頼もお受けしています。



地域のお祭りなどで上演してみませんか？



紙芝居作品の販売や作品・上演道具(舞台・太鼓・拍子木)の無料貸し出しも行っていきます。

令和4年度

いきいき青葉区推進協議会活動表彰

受賞者及び事績

魅力ある青葉区をつくるためにさまざまな活動を行い、その活動内容が優れている方々を、令和4年11月3日開催の青葉区民まつりにて表彰しました。



右から2番目が鈴木さん、4番目が今野さん



鈴木 憲一 さん

落合・栗生地区において、毎朝地域を周り清掃活動を行うほか、子どもたちに美化活動の意義をお話しているなど、児童の健全育成にも寄与しています。また、地域の高齢者宅の雪かきや声掛けを行い、安全・安心に暮らせる住みよいまちづくりに貢献するとともに、地域の歴史を伝える活動を通して、地域を大事にする心の育成にも寄与しています。



ゴミ拾いを行う鈴木さん。タバコの吸い殻の本数を数えて統計をとっているそうです。



今野 均 さん

片平地区において、「多言語ゴミ出しルールシート」の作成や外国人留学生が在籍する専門学校・住民・関係者による定期的な会議の開催を行うほか、外国人住民も役割を担って参加する防災訓練を実施するなど、外国人住民と共生するまちづくりを積極的に進めています。



多文化防災ワークショップの打ち合わせの様子。手前右から3番目が今野さん。